

エジプト

Arab Republic of Egypt

		2016年	2017年	2018年
①人口：9,810万人（2019年1月1日）	④実質GDP成長率（%）	4.2	5.3	5.4
②面積：100万1,450km ²	⑤消費者物価上昇率（%）	13.8	29.5	14.4
③1人当たりGDP：2,573米ドル （2018年）	⑥失業率（%）	12.4	11.3	8.9
	⑦貿易収支（100万米ドル）	△46,423	△40,277	△51,262
	⑧経常収支（100万米ドル）	△14,394	△5,962	△3,854
	⑨外貨準備高（100万米ドル）	20,858	33,214	38,609
	⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	79,033	92,644	96,612
	⑪為替レート（1米ドルにつき、 エジプト・ポンド、期中平均）	10.03	17.78	17.77

〔注〕④⑦⑧⑩はエジプト年度（7月～翌年6月）、2018年は上半期（2018年7～12月）の数値。
〔出所〕①⑤⑥⑦：エジプト中央動員統計局、②エジプト国家情報サービス、③⑨⑩：IMF、④⑧⑩：エジプト中央銀行

■ 経済は高成長率を維持

2017/18年度（2017年7月～2018年6月）の実質GDP成長率は5.3%で、前年度の4.2%を上回った。2018/19年度に入ってから好調で、上半期の成長率は5.4%となった。2011年の「アラブの春」以降に成長率2%前後で停滞していた経済は回復基調にあり、高成長が続いている。2017/18年度は、政府主導の大型公共投資により総固定資本形成が前年比15.7%増となり、成長を牽引した。

産業別では天然ガス、観光業、建設業が好調だった。地中海沖のゾフルガス田などの大型天然ガス田の生産が開始され、天然ガス（構成比4.6%）は17.9%増と大幅な伸びを見せた。一方で石油（4.0%）は近年の価格低下などの影響で、0.7%減となった。建設業（6.0%）は、10.0%増と好調だった。2018年6月に再選したエルシーシ大統領は、引き続き新首都移転やスエズ運河の拡張、シナイ半島の開発など公共事業を強化させている。また、人口が増加傾向で、現在のピラミッド型の年齢構成から今後は若年層が厚みを増し、消費拡大が見込まれることから、首都近郊の住宅や商業施設が開発されている。

観光業（2.5%）は、「アラブの春」以降の治安悪化により低迷を続けていたが、政府が治安対策に力を入れていることもあり、37.7%増と著しく回復した。2018/19年度上半期も前年同期比27.2%増と好調を維持している。2015年のロシア機墜落事故以降、休止していたロシアとの直行便が2018年4月に再開され、墜落事故以前には国別で最大だったロシアからの観光客数が回復した。2015年に複線化されたスエズ運河の通行料（2.3%）も9.6%増となり、安定した外貨収入源となっている。

「アラブの春」以降の経済低迷により、外貨不足で輸入が困難な状況に陥ったが、2016年に国際通貨基金（IMF）と総額120億ドルの融資に合意し、外貨準備高は2019年3月時点で441億ドルと前年に引き続き高い水準となった。IMFは、融資の条件とした経済再生プログラムに対する最終レビューを2019年5月に行い、約3年間のエジプト政府の改革を高く評価した。高い経済成長率、外貨準備高の増加、物価上昇率の落ち着き、失業率の低下、経常収支の改善など、さまざまな数値が改善を示している。

表1 エジプトの主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2017年	2018年				2017年	2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
原油	2,091	2,133	7.3	2.0	鉄鋼一次製品	3,233	4,415	5.5	36.6
既製服	1,453	1,597	5.5	9.9	原油	1,734	3,544	4.4	104.4
肥料	1,094	1,378	4.7	26.0	プラスチック一次製品	2,362	2,873	3.6	21.6
プラスチック一次製品	753	955	3.3	26.8	自動車	1,665	2,669	3.3	60.3
各種調整食料品	664	696	2.4	4.8	小麦	2,617	2,619	3.3	0.1
石油製品	317	671	2.3	111.7	石油製品	3,490	2,407	3.0	△31.0
生鮮オレンジ	544	664	2.3	22.1	無機・有機化合物	1,914	2,301	2.9	20.2
生鮮果実	612	536	1.8	△12.4	医薬品	2,168	2,281	2.8	5.2
絨毯・キリム	317	314	1.1	△0.9	トウモロコシ	1,719	1,835	2.3	6.7
乳製品	304	311	1.1	2.3	食肉	1,556	1,664	2.1	6.9
総額（その他含む）	26,286	29,211	100.0	11.1	総額（その他含む）	66,563	80,473	100.0	20.9

〔出所〕エジプト中央動員統計局

表2 エジプトの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年	2018年				2017年	2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
イタリア	2,193	2,041	7.0	△6.9	中国	8,063	11,436	14.2	41.8
トルコ	1,924	2,005	6.9	4.2	サウジアラビア	4,122	5,639	7.0	36.8
アラブ首長国連邦 (UAE)	2,738	1,980	6.8	△27.7	米国	3,869	5,400	6.7	39.6
米国	1,366	1,717	5.9	25.7	ロシア	3,610	4,832	6.0	33.9
サウジアラビア	1,564	1,429	4.9	△8.6	ドイツ	4,498	4,120	5.1	△8.4
英国	1,095	1,337	4.6	22.1	イタリア	4,349	3,487	4.3	△19.8
スペイン	812	1,279	4.4	57.4	トルコ	2,085	3,295	4.1	58.1
インド	893	1,145	3.9	28.2	ブラジル	2,703	3,070	3.8	13.6
中国	693	1,035	3.5	49.4	クウェート	1,389	2,293	2.8	65.1
アルジェリア	388	977	3.3	152.1	インド	2,342	2,283	2.8	△2.5
日本	64	132	0.5	108.5	日本	1,023	1,224	1.5	19.6
アラブ諸国	9,793	9,449	32.3	△3.5	アラブ諸国	9,788	12,941	16.1	32.2
総額 (その他含む)	26,286	29,211	100.0	11.1	総額 (その他含む)	66,563	80,473	100.0	20.9

[出所] エジプト中央動員統計局

■主要輸入品目の輸入増で貿易赤字が拡大

2018年の貿易(通関ベース)は、輸出が前年比11.1%増の292億1,100万ドル、輸入は20.9%増の804億7,300万ドルとなり、貿易赤字は27.3%増の512億6,200万ドルに拡大した。

最大の輸出品目である原油は前年比2.0%増、続く既製服は9.9%増と好調だった。肥料(26.0%増)、プラスチック一次製品(26.8%増)、石油製品(2.1倍)などが大幅に増加し、輸出を後押しした。輸出先の国別では、イタリアが最大で構成比7.0%を占めた。同国炭化水素公社(ENI)は、地中海沖のガス田開発を進めており、鉱物燃料などの輸出が目立った。輸出額が4.2%増のトルコ(構成比6.9%)と、57.4%増のスペイン(4.4%)については、特に鉱物燃料の輸出が伸びた。25.7%増の米国(5.9%)は、既製服の輸出が伸びた。地域別では、エジプトと距離が近く関係が深いアラブ諸国向けの輸出が全体の約3割を占めた。

輸入では、鉄鋼一次製品が構成比5.5%で最大となり建設需要の拡大を背景に前年比36.6%増、2位の原油(4.4%)は2.0倍となった。自動車(3.3%)は物価上昇が落ち着き60.3%増と大きく伸びたが、2019年に入ってからSNSなどにより自動車の不買運動が起こり、売れ行きが鈍っている。国別では、中国(構成比14.2%)が最大で電気機器および同部品、ボイラーおよび同部品、自動車などの輸入が増加し、41.8%増だった。サウジアラビア(7.0%)からは鉱物燃料を中心に36.8%増、米国(6.7%)からは穀物などが約3倍増となり、39.6%増と大幅に増加した。

■対内直接投資は増加も、日本の投資は減少

エジプト中央銀行によると、2018年の直接投資額(国

際収支ベース、フロー、暫定値)は、対内投資が前年比5.3%増の131億9,200万ドル、対外投資が24.9%増の63億9,400万ドルだった。ネットでは67億9,800万ドルの流入超で、8.2%減だった。

対内直接投資では、EUが構成比62.0%と存在感を示し、前年比6.3%増となった。国別では、英国(構成比36.8%)引き続き最大で、前年比3.4%増だった。米国(17.4%)は24.0%増、オランダは5.4倍、ドイツは80.5%増で大きな伸びを示した。エジプトの政府機関によれば、EU域内の銀行からエジプトの銀行への投資、EUからエジプトの天然ガスビジネスへの投資案件がみられた。アラブ首長国連邦やサウジアラビアの景気後退を受け、アラブ諸国からの投資は17.3%減となった。また、国連貿易開発会議(UNCTAD)によれば、2018年にエジプトはアフリカで最大の投資受け入れ国だった。

日本からの投資は前年比77.3%減の4,200万ドルだった。

表3 エジプトの国・地域別対内直接投資
<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ドル、%)

	2017年	2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率
英国	4,694	4,854	36.8	3.4
米国	1,853	2,297	17.4	24.0
ベルギー	2,209	2,244	17.0	1.6
アラブ首長国連邦 (UAE)	967	793	6.0	△17.9
オランダ	80	430	3.3	439.1
サウジアラビア	369	355	2.7	△3.8
ドイツ	101	183	1.4	80.5
フランス	210	172	1.3	△18.4
スイス	121	162	1.2	34.5
中国	169	151	1.1	△10.4
日本	184	42	0.3	△77.3
アラブ諸国	1,918	1,586	12.0	△17.3
合計 (その他含む)	12,528	13,192	100	5.3

[出所] エジプト中央銀行

2018年は、臨床検査機器などを扱うシスメックスが現地法人を設立することを発表した。また、衛生用品などを扱うサラヤが新たにエジプトに進出した。エジプト政府は、輸出振興と雇用拡大のため、輸出品製造企業や雇用に創出する企業へ減免税措置などを設け、企業誘致を目指している。

■日本の輸入ほぼ倍増で、貿易黒字は縮小

日本の財務省貿易統計（通関ベース）によると、2018年の対エジプト貿易は、輸出が前年比19.1%増の9億9,403万ドル、輸入がほぼ倍増の2億7,071万ドルで日本の貿易黒字となったものの、黒字額は前年より縮小した。日本

の最大の輸出品目である輸送機器（乗用車、バス・トラックなど）が、前年比44.9%増と大幅に回復し、輸出増加の要因となった。輸送用機器、一般機械の上位2品目で、輸出の約6割を占めた。日本産冷凍サバがエジプトに4,529万ドル輸出されており、日本の主要なサバ輸出先となっている。

輸入は、73.6%を占める鉱物性燃料が前年比2.9倍となり、輸入増加の要因となった。内訳は石油製品が同6.3倍と大幅に増加し、液化天然ガスも50.2%の伸びを見せた。エジプトの主要産業である織物用糸・繊維製品、食料品も輸入が大きく伸びた。

表4 日本の対エジプト主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年	2018年				2017年	2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	242,012	350,776	35.3	44.9	鉱物性燃料	68,794	199,216	73.6	189.6
自動車	208,486	300,727	30.3	44.2	石油製品	19,867	125,714	46.4	532.8
乗用車	118,690	135,605	13.6	14.3	揮発油	17,707	125,633	46.4	609.5
バス・トラック	85,055	153,064	15.4	80.0	液化天然ガス	48,927	73,502	27.2	50.2
自動車の部分品	32,279	49,128	4.9	52.2	食料品	19,033	22,068	8.2	15.9
一般機械	186,700	223,440	22.5	19.7	野菜	7,303	6,378	2.4	△12.7
原動機	86,600	90,018	9.1	3.9	果実	5,963	9,800	3.6	64.3
ポンプ・遠心分離機	30,511	21,014	2.1	△31.1	電気機器	12,299	16,178	6.0	31.5
建設用・鉱山用機械	17,563	36,218	3.6	106.2	原料別製品	10,167	11,461	4.2	12.7
荷役機械	12,767	16,313	1.6	27.8	織物用糸・繊維製品	6,991	9,555	3.5	36.7
原料別製品	186,424	161,628	16.3	△13.3	非金属鉱物製品	1,707	1,047	0.4	△38.7
鉄鋼	123,768	81,140	8.2	△34.4	その他	10,413	9,938	3.7	△4.6
金属製品	6,679	11,251	1.1	68.5	衣類・同付属品	5,969	6,016	2.2	0.8
ゴム製品	49,874	60,906	6.1	22.1	原料品	10,011	6,073	2.2	△39.3
電気機器	86,678	95,449	9.6	10.1	化学製品	873	5,017	1.9	474.7
重電機器	16,241	14,590	1.5	△10.2					
通信機	3,373	5,831	0.6	72.9					
電気計測機器	4,525	5,115	0.5	13.0					
電気回路等の機器	23,852	25,492	2.6	6.9					
化学製品	54,161	69,497	7.0	28.3					
有機化合物	9,953	9,884	1.0	△0.7					
医薬品	4,811	2,951	0.3	△38.7					
プラスチック	27,969	46,199	4.6	65.2					
食料品	39,761	47,377	4.8	19.2					
合計（その他含む）	834,682	994,033	100	19.1	合計（その他含む）	132,090	270,710	100.0	104.9

[出所] 財務省「貿易統計」(通関ベース)を基に作成